

# 予算決算福祉文教小委員会審査報告

平成 30 年 9 月 18 日

予算決算常任委員会委員長 風 間 行 男 様

福祉文教小委員長 石 川 信 雄

本小委員会に付託された事件についての審査内容及び経過、意見等を次のとおり報告します。

事件の番号	付 託 内 容
議案第 53 号	平成 29 年度一般会計歳入歳出決算中 民生費、衛生費、 <u>労働費</u> （シルバー人材センター運営事業）、 教育費及び関係歳入について

当小委員会では、上記付託議案について、説明員から詳細な説明を受けながら活発な質疑を行い、審査を行いました。

次に主な質疑、意見について報告します。

## ■ 住民環境課

### 【民生費】

質疑なし

### 【衛生費】

質疑①：保健衛生総務関係⑤の狂犬病予防注射関係、2 tトラック車検ほかだが、犬で2 tトラックを使うのか。

回答①：犬専用軽トラックとごみ専用2 tトラックを所有しており、保健衛生総務費で管理している。

質疑②：町道等死骸処理の等とは何か。

回答②：県道でのペット類「犬・猫」である。

質疑③：野生動物の民地での死骸処理対応はどうか。空き家でタヌキの死骸があり、回収を町に依頼したが対応できないとのことで、議員の立場もあるので片

づけたが断れるのか。

回答③：民地の場合は、その土地の所有者や管理者等が処理する。ペットを除き、死骸は廃棄物となる。

質疑④：猫がたくさんウロウロしているが対策は。

回答④：猫については飼い主の責任となる。県保健所で飼い方教室を開催したり、指導したりしている。

質疑⑤：強制的に県保健所で引き取りはしないのか。

回答⑤：県保健所では一定条件を付けて有料で引き取り、譲渡会開催や殺処分している。野良猫で有害鳥獣となるものは駆除対象となる。

質疑⑥：水質検査の結果を見ても基準が分からない。

回答⑥：基準はあるが、大腸菌群数は最確数法での数値であり、水温が高いと繁殖増加する。水道水には厳しい基準が設けられている。

質疑⑦：環境対策費中の環境会議と環境審議会は同じものか。委員は同じなのか。

回答⑦：委員は別。環境審議会は「環境基本計画」策定の諮問に対し答申する諮問機関で、その計画を推進、進行管理する機関が環境会議である。環境会議は途中で絶ち切れている。

質疑⑧：野村上公衆トイレを廃止した影響はあるか。

回答⑧：特に聞いていない。廃止した野村上及び牟礼ガード下公衆トイレは、バスに乗車する小学生のために設置されたと聞いている。

質疑⑨：公衆トイレは全て水洗化されているか。

回答⑨：古町公衆トイレは汲取りである。

意見⑩：公衆トイレは無いと不便だが、あると管理が大変である。

質疑⑪：小玉チェーン脱着所を地区の方が清掃すると汚物が捨てられているという。公衆トイレ設置の考えはないか。

回答⑪：設置するとなると国道工事事務所になる。

意見⑫：老朽化している古町公衆トイレを撤去し、場所は変わるが新規設置することも考えられる。そのように相談のあった地区へ伝える。

質疑⑬：日向廃棄物処理場跡地地下水等調査で、有害物質「ヒ素」が基準値を超えているが、下流の住民等へ伝えるなどはしないのか。

回答⑬：10月10日の調査孔調査での基準値超過であり、同日の浸出水及び流入沢では超過は無い。また、他日調査では調査孔でも超過が無い場合経過観察としている。鉄分が多いことが1つの原因として考えられる。

## ■保健福祉課

### 【民生費】

質疑①：臨時福祉給付金事業の決算額について、国庫支出金が2,690万2,000円となっているが、繰越事業の繰越明許費における臨時福祉給付金給付事業支出済額が2,640万9,000円となっている。また、決算書の金額では繰越分と流

用分を足さないと合わないがなぜか。

回答①：前担当者が繰越を行う際に1,706人でカウントし、39人分少なく繰越をしたことによるもので、次年度で不足する58万5,000円を流用にて対応した。

質疑②：決算書の流用額の585,000円と繰越額の2,640万8,881円を足すと、行政報告書の2,699万3,881円になるが、行政報告書では国庫支出金が2,690万2,000円となっており、一般財源の91,881円を足した金額と合うが、話が合わない。

回答②：平成26年から毎年繰越で行ってきており、次年度精算を繰り返し行ってきた経過がある。

質疑③：年度末の数字があって、その後2か月の期間があり、6月1日に報告を受けているが、なぜ、繰越明許費の金額が変わったのか。

回答③：5月末に間に合わなかったため、このような処理になってしまった。

質疑④：最終的にどの数字が正しいのか。

回答④：行政報告書に記載されている内容が実際の数値である。

質疑⑤：その場合、繰越明許費と国庫支出金が相違となるが。

回答⑤：国への精算修正で不足する額を上乗せして請求している。

質疑⑥：結婚相談所運営事業委託業務について、毎年委託先から成果として報告書は提出されているのか。

回答⑥：毎年、実績報告書が提出されている。

質疑⑦：費用対効果だが、200万円も掛けて事業を実施する必要があるのか。また、報告書は毎年検討されているのか。

回答⑦：昨年は、町内の方で2組が成婚されており、現在、女性17人、男性43人、計60人の登録があり、新たな登録者も増えている。また、JAとの連携や長野圏域での取組を今年から始めている。

質疑⑧：栄町の結婚相談所だけで200万円の委託料を払っているのか。

回答⑧：栄町だけではなく、会場を設営しながら様々な場所で行っている。

質疑⑨：長野市等の企画会社が入っているのか。

回答⑨：企画会社は入っていない。

質疑⑩：登録は飯綱町に住所がある方など、要件があるのか。

回答⑩：要件は無いが、現在のところ飯綱町に住所を有する方が60名登録している。

質疑⑪：県外の息子が登録することはできるのか。制約があるのは補助金を出すからなのか。

回答⑪：特に規定は無いが、他の町村の登録はない。また、社協等で決めていることなので、特に意見は言っていない。後日、確認したい。

質疑⑫：要望書等で他の地域の方を勧誘したいという意見は無いのか。

回答⑫：今のところ要望は無い。

質疑⑬：パーティーは町内で行わなければいけないのか。

回答⑬：そのようなことは無く、様々なところで設営している。また、ミニ婚など少人数の活動も行っている。

## 【衛生費】

質疑⑭：検診事業、住民人間ドック等の予算執行率が悪いが原因は。例えば、対象者の検診間隔などによるのか。

回答⑭：検診希望の結果と前年度の執行状況に基づき予算を編成している。住民人間ドックは2年に1度の受診体制であり、影響していると考ええる。また、住民人間ドックの受診率が減少したことにより、同時実施できる子宮頸がん、乳がん検診の受診者も減少したことが考えられる。

意見⑮：執行率向上に向けて、よく精査し予算を組んでもらいたい。

質疑⑯：結核検診で80名以上が精密検査となっているが、実際に結核は出ているのか。法律で定められた検診ではあるが、結核が出ていないのであれば、町は検診を実施しないということはどうか。結核で治療している者はどのくらいいるのか。

回答⑯：結核で治療している者の人数は町では把握できない。結核検診では、結核の疑いの判定が出ることや結核以外の病気が見つかることがある。高齢者は結核を発症しやすく、発症すれば多くの方に感染する可能性がある。全国的には結核は少なくない感染症の1つなので、結核検診をやめることはできない。

質疑⑰：病院施設費の飯綱病院事業会計負担金及び補助金について、算出基準はあるのか。その場合、どのような基準があるのか。

回答⑰：毎年、総務副大臣から出される地方公営企業繰出金に関する通知に定められた基準に基づき算出している。病院では、建設改良に関する経費、救急医療の確保に要する経費、病院事業会計に係る共済追加費用の負担に要する経費といった基準を踏まえて、資本と収益の別に予算を立て、合算した額の予算付けを保健福祉課に要望している。保健福祉課では要望のあった額を負担金及び補助金として一般会計で予算計上し、病院事業会計へ支出している。病院の立てた収益、資本の予算内容についてはこちらでは把握していない。

質疑⑱：経年で3億5,000万円が、3億4,500万円となり、去年は3億5,606万円と細かいが。

回答⑱：3億5,000万円は病院の改革プランに沿ってのものだと思う。

意見⑲：監査の内容に響く。額は合算しているが、収益と資本に対する補助を分けて考えることになっている。病院経営が赤字だから補助しているものではないということ。法律上、一般会計から支出しなくてはいけないことになっている。

質疑⑳：住民人間ドック、特定健診など、いろいろな健診があり、検診希望調査があるが、どれを選んだら良いか迷う。知らない者にとっては複雑であるため、全ての健診を人間ドックにするというように単純化できないものか。

回答㉑：人間ドックは1日で精度の高い検診を受けられるという利点はあるが、受診費用が高額となる。また、身体的な苦痛を伴う検査もある。受診者の希望もあり、より多くの方に検診を受けていただくためには選択できるよう

にしたい。周知内容については、分かりやすくなるよう工夫していきたい。

### 【労働費（シルバー人材センター運営事業）】

質疑なし

## ■教育委員会

### 【民生費】

#### □児童福祉費、保育園費、子育て支援センター費等

質疑①：保育所の保育料等滞納繰越分について、どんな対応をするのか。

回答①：内容は平成 21 年度分の滞納で、分納誓約をしてあり現在分納中である。  
平成 31 年度に完納の予定。

質疑②：町保育園の現状で、年度途中に入園する 3 歳未満児が多く、保育士の増員が必要との説明があったが、離婚等によりシングルマザーが町に戻ってくるといことが背景にあるのか。

回答②：いろいろなケースがあり、今言われたシングルマザーのケースもあるし、単に転入による入園もある。

質疑③：未満児何人に対して保育士 1 人が必要か。

回答③：0 歳児は保育士 1 人で 3 人まで見ることができ、1～2 歳児は 6 人まで見ることができる。

質疑④：転入により園児が増えた場合は、臨時職員により対応するしかないということか。

回答④：どうしても保育士の手配ができない時はお断りをする。また、一時保育で対応することもある。

質疑⑤：障がい児保育についての今後の課題で、加配保育士等の配置人数が記載されているが、その人件費はいくらになるか。

回答⑤：一人ひとり人件費を積み上げないと出ないが、予算ベースで概ね 2,000 万円ほどと思われる。

質疑⑥：各児童クラブの登録児童数の推移の表が載っているが、小学校統合後、各児童クラブ間で登録する児童数に変化はあったか。

回答⑥：平成 30 年度の児童クラブ登録数は、牟礼東児童クラブが 108 名、福井団地児童クラブが 74 名、牟礼西児童クラブが 39 名、三水児童クラブが 82 名、赤東児童クラブが 34 名で合計 337 名となっている。平成 29 年度までは複数の児童クラブに登録できたのが、平成 30 年度からは 1 つの児童クラブしか登録できなくなったため、一概には比較できない。

意見⑦：子育て支援センターについて、なかよし広場で未満児の保護者が育児相談などの悩み相談をするための人員配置を充実してもらいたい。

質疑⑧：保育士の確保が困難ということだが、実状として飯綱町の待遇の関係で確

保できないのか。

回答⑧：保育士の給与は信濃町とはほとんど変わらないが、長野市と比べると1万円を超える差がある。保育士の待遇改善は考えているが、教育委員会だけ人件費を上げることはできないため、他も考慮しながら検討したい。

質疑⑨：正規職員の保育士が足りていないというのは昨年から懸案事項だが、正規職員で担えるような体制を整えるには、あと何人必要になるか。

回答⑨：年によって違うので単純に何人ということは難しいが、少なくとも退職者の人数はその補充として確実に採用したいと思っている。最近、保育指針が大きく変わり、保育の質の向上がうたわれているので、人員不足を質の向上によりカバーしたい。

質疑⑩：今、未満児が増えてきている中で、個別的な計画を月毎に作成するのは大変だと思われる。そういう部分はある程度クリアーしていく必要があるのではないか。

回答⑩：そのような大事なポジションには正規職員を配属できるよう努力していきたい。

質疑⑪：児童虐待対応状況で、平成29年度の対応件数が12件とある。年々増えているが終結件数2件ということは、まだ10件は継続して対応しているということか。

回答⑪：平成28年度の5件が終結せずに平成29年度に引き継がれたため、平成29年度は新規対応7件と合わせて12件となり、質問のとおり2件終結したため10件が継続している。

## 【教育費】

### □教育総務費、小学校管理費、中学校管理費等

質疑⑫：事務局一般管理費の各種団体等負担金で、北部高校を愛する会に55万円の負担金を支払っているという説明があったが、なぜそんなに高いのか。

回答⑫：負担金額の根拠は不明。しかし、北部高校は飯綱町になくてはならない高校のため、この負担金を出していると思われる。

質疑⑬：小学校統合関連事業費の繰越事業について、国庫支出金が予算時と比べどうして減ったのか。

回答⑬：実績報告により交付金額が確定し、交付決定額より国庫支出金額が減ったことによる。

質疑⑭：扶助費について、昨年度と比べ認定者数が減っているが、認定者が援助を受ける必要が無くなったのか、それとも転出してしまったのか。

回答⑭：入学により新たに認定した児童数より、卒業した認定者数が多かったため減少した。

質疑⑮：英語検定料補助事業で、137名が検定を受け、39名しか合格しないのは合格率が悪い。生きた補助金になっていないのではないのか。

回答⑮：今まで検定を受けなかった生徒にもチャレンジしてもらおうという事業であるため、合格率についてはこれからである。

質疑⑯：小学校の駐車場が整備されたが、まだ足りないのではないか。

回答⑯：牟礼小学校は新たに 50 台分の駐車場を整備する予定。三水小学校は足りている。

質疑⑰：バス通学になり体力の低下が心配されるが、それについての考えは。

回答⑰：日常の中で体力を増進する対策を検討している。

意見⑱：徒歩通学が無くなり、地域において子どもの声が聞こえず寂しいとの声がある。地域の活力が落ちることも懸念される。

質疑⑲：教育関係の臨時職員の雇用賃金はどのように決めているか。

回答⑲：臨時職員は職種ごとに近隣町村の動向と最低賃金を勘案して決定している。

#### □社会教育費、公民館費、生涯学習費、施設管理費、文化財費等

質疑⑳：男女共同参画について、研修会等へより男性が参加するよう促し、男性の意識改革も必要ではないか。

回答㉑：研修会へは推進員を中心に参加いただいているが、実状では女性団体の方などが多く参加している。最近、農家レストランの日和や集落創生事業で女性が活躍している状況はあるが、根本的に男女共同参画をどうしていくかということを考えなければならないと感じている。

質疑㉒：文化財保護の関係で、指定解除文化財が明記されているが、どうして解除となったのか。

回答㉒：修復のための解除で、修復後また文化財の指定を行う。

質疑㉓：歴史ふれあい館のリニューアルの進捗状況はどうなっているか。

回答㉓：平成 31 年度にリニューアルの検討委員会を立ち上げ、平成 32 年度以降、リニューアルに着手する予定である。

質疑㉔：マレットゴルフ場の利用が 80 人となっている。飯綱町のマレットゴルフの会員数は何人か。

回答㉔：30 人前後である。

質疑㉕：町民会館周辺にマレットゴルフのコースを新設するということだが。

回答㉕：マレットゴルフ大会は近隣が持ち回りで開催しており、飯綱町には大会ができるようなコースが無い。コース新設の要望を長年受け、町民会館周辺にコースを作る計画でいる。

質疑㉖：飯綱町体育協会といづなスポーツクラブの統合についての話し合いは進んでいるのか。

回答㉖：昨年、両役員が集まって検討したが、今の段階では厳しいということになった。

#### □学校給食共同調理場費

質疑㉗：調理員の臨時職員募集を頻繁に行っているが、何が原因で足りないのか。

回答㉗：重労働であることや、夏休み等により年間通して安定的に働くことができず足りていない状況で、代替職員により対応している。段階的に賃金を上げることでの待遇改善を進めている。

平成 29 年度飯綱町一般会計歳入歳出決算のうち、当小委員会で審査した内容は以上のとおりです。これらの決算認定について、反対の意見はありませんでした。